

# 令和元年東御市議会12月定例会

## 招集あいさつ

(令和元年12月3日 午前9時開会)

### 1 はじめに

本日ここに、令和元年東御市議会12月定例会を招集申し上げましたところ、議員各位におかれましては年末を迎え何かとご多用の中、ご出席を賜り、厚く御礼申し上げます。

### 2 諸般の情勢

10月12日から13日にかけての台風第19号は、市内に初めて大雨特別警報が発表されるほどの記録的な大雨をもたらしました。

千曲川流域を中心とした河川の氾濫等により、市内では死者1名、負傷者1名の人的被害が発生するとともに、各地において、住宅8棟で一部損壊や床下浸水が発生し、道路・橋梁・河川等の土木施設、農地・農業用施設に加え、鉄道施設や事業所などに甚大な被害が発生しました。

市内6か所に開設した避難所には453名の方々が避難され、また、避難所で特別な配慮が必要な10名の方は福祉避難所に避難されました。そのほか、交通網の寸断により通勤、通学等に支障が生じ、電気、上下水道などのライフラインも停止するなど、市民生活にも深刻な影響がありました。

災害の犠牲となられた方々、そしてそのご遺族の皆様方に対しまして謹んでお悔やみを申し上げますとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

また、今回の災害対応に際し、各区の区長や消防団の皆様をはじめ多くの関係者の皆様に多大なるご尽力を賜りました。この場

をお借りしまして、厚く御礼申し上げます。

市では、10月12日から21日までの10日間、市災害対策本部を設置し初期対応にあたるとともに、災害発生直後から関係機関と連携し、ライフラインや交通網等の早期復旧に取り組んでまいりました。

市内では、いまだ市営住宅に一時避難されている世帯がございます。

災害救助法の適用や激甚災害の指定等により、千曲川の護岸や海野宿橋については国の権限代行による復旧工事が早期に着手され、災害発生から約1カ月後には、しなの鉄道が運転を再開するなど、明るい兆しも見え始めているところでございます。

被災された多くの皆様の一日も早い平穏な生活と生業が再建されますことを願うとともに、復旧・復興を最優先で取り組んでおります。

災害復旧は、現状復旧が原則ではありますが、「Build Back Better（ビルド・バック・ベター）」災害前の状態に現状復旧するだけでなく、次の災害に備え、より強靱な地域づくりの実現をめざし、国や県と連携し全力を尽くしてまいります。

市民並びに議員の皆様にご心配をお掛けしております、湯の丸高原屋内運動施設整備に係る財源の寄附金につきまして、個人版ふるさと寄附金は、昨年度一年間の実績を既に超え、また、一般寄附も、前年度の同時期より伸びております。

しかし、企業版ふるさと寄附金につきましては、積極的に企業訪問を行い、寄附のお願いをしておりますが、目標としていた金額を確保することが困難な状態であります。

寄附を集めきると言ったお約束が、現時点で目途がついていな

いことの全責任は私にあり、全く私の不徳の致すところでありませう。この場をお借りして衷心よりお詫び申し上げます。

なお、企業版ふるさと納税制度は、5年間延長され、税負担をこれまでの6割から9割軽減に大幅な拡充となる見込みであることから、これまでご協力いただいた企業の皆様及びご検討いただいている大口の企業の皆様よりご寄附いただける環境が整ったと考えております。今後も目標達成に向け全身全霊を注いでまいります。

次に、本市のこれまでの動きの中の主な行事や活動について、申し上げます。

#### (市民病院の再編・ネットワーク化)

平成29年7月から取り組んでまいりました病院事業における鹿教湯三才山リハビリテーションセンターとの再編・連携協議につきましては、二年余りの検討期間を経まして、去る10月1日に開催された「上小医療圏地域医療構想調整会議」において、回復期のベッドを60床増床する計画を提案いたしました。

しかしながら、この会議の委員23名中、6名の方が異を唱えたことから、全会一致による合意形成には至らず、断念せざるを得ない状況となりました。

この間、市民の皆様からは、ご賛同をいただく陳情がなされ、議会におかれましても「リハビリ機能病床の拡充を求める決議」が採択されるなど、地域の期待が大変大きかった取り組みであるだけに、このような結果に対しましては遺憾に堪えない思いでございます。

今後につきましては、当面現在の規模の中で、市民の期待に応えられるよう更なる病院運営の充実を図ってまいります。

## (東御の日記念式典)

「東御の日」は平成18年に制定され今年で14年目を迎えました。

10月3日の記念式典では、永きに亘り地域社会の発展と福祉増進のために各分野においてご尽力された11名の皆様と、市に多額の御寄附をいただいた16企業と4名の皆様、また、花いっぱいコンクールの入選者の中から最優秀賞と優秀賞に選ばれた個人と団体に対する表彰が行われました。

表彰式典に続き、東京大学名誉教授の上野千鶴子先生を講師にお迎えし、記念講演会を開催致しました。

「人口減少社会の地域づくり」と題した講演では、東御市の例も引き合いに出しながらご講演をいただき、200名を超える皆様に聴講いただきました。

## (天空の芸術祭2019)

10月14日から27日まで、北御牧地区を会場に、東京藝術大学と連携した「天空の芸術祭2019」が開催されました。

4回目となる今年は、東京藝術大学の教授、学生の皆さん、上海やフィンランドからの作家のほか、地元作家や市内小中学校の皆さんも参加して、作家の目から見た北御牧地区の雄大な自然や人を表現したものや既存建築と現代アートを融合させたものなど、数多くの作品が展示されました。

また、会期中には、県と東京藝術大学の包括連携事業であるワークショップが開かれ、前衛的に活躍されている講師から直接ご指導いただきました。

台風第19号災害の影響もあり、例年の様な盛り上がりとはなりませんでしたが、芸術に触れ合う機会を通して、世代を超えた地域内外の交流が図られました。

## (湯の丸高原屋内運動施設竣工式)

## (湯の丸高原スポーツ交流施設愛称発表)

10月20日、湯の丸高原スポーツ交流施設屋内運動施設特設プールの竣工式を、事業推進にご尽力頂いた方々はじめ、工事関係者ら約150名をお招きし挙行いたしました。

日本水泳連盟の青木剛会長からは「ナショナルチームだけでなく、ジュニアや身体障がい者まで幅広い選手層の強化が期待できる」とご挨拶をいただきました。

また、ネーミングライツパートナーより、湯の丸高原スポーツ交流施設（全体）の愛称を、「GMOアスリートパーク湯の丸」とすることが発表されました。

既に、日本水泳連盟をはじめ、全国の大学、スイミングクラブなど多くの団体から合宿の予約を頂いており、11月25日から12月中旬にかけて、東京オリンピックでメダル獲得を目指す競泳ナショナルチームの強化合宿が行われているところであります。なお、今週の5、6日にはメディアを対象に、また、7日には一般を対象とした公開練習が行われます。多くの市民の皆様にご覧いただきたいと存じます。

地の利を活かした、日本で唯一のこの施設をトップアスリートはじめ多くのスイマーにご利用いただき、東御市の認知度の向上、関係人口の創出に取り組んでまいります。

## (モルドバ共和国大統領来訪)

10月24日には、2020東京オリンピック・パラリンピックのホストタウンの相手国であるモルドバ共和国から、イーゴル・ドドン大統領閣下にお越しいただきました。

市役所で開催しました歓迎セレモニーのあいさつでは、台風被害へのお見舞いととも「東御市との関係がさらに深まることを

願っている」と述べられました。

このほか、来年予定されているモルドバ共和国の水泳選手の事前合宿予定地となるGMOアスリートパーク湯の丸を視察していただきました。今後もホストタウンとしてモルドバ共和国との交流を深めてまいりたいと考えております。

### (和小学校創立140周年記念式典) (秋の文化活動)

10月26日、大勢の関係者の皆様が出席され、和小学校の創立140周年記念式典が執り行われました。和地区の皆様の「和教育」に対する思いを大切に、今後も素晴らしい和小学校の歴史が連綿(れんめん)と続くことをご祈念申し上げます。

秋の文化活動では、本年より市内全小学校の運動会が春の開催となったことから、音楽会は全学校で秋に開催され、子どもたちの素晴らしい歌声や合奏が会場いっぱいに響いていました。

中央公民館を会場に総合文化フェスティバル、短詩型文学祭、各地区公民館でも文化祭が開催され、素晴らしい作品が数多く展示されていました。

11月3日開催の図書館まつりでは、多くの親子連れをはじめ大勢の皆様にご来館いただきました。本のリユース市、腹話術の上演や「葉づくり」などのイベントが行われ、楽しげな子供たちの声をたくさん聞くこともできました。

### (長野県青少年健全育成県民大会) (長野県図書館大会)

長野県青少年健全育成県民大会が11月2日に、また、長野県図書館大会が11月9日に東御市の文化会館を会場としてそれぞれ開催されました。

県内各地から大勢の皆様にお越しいただき、基調講演や事例発表など大変有意義な大会でありました。

## (第22回高所トレーニング国際シンポジウム)

11月9日・10日に「第22回高所トレーニング国際シンポジウム」が湯の丸高原で開催され、国内外から沢山の関係者が東御市に足を運んでくださいました。

海外の専門家からは、湯の丸は世界レベルの高地トレーニング基地であるとの評価をいただき、国内の専門家からも、身近に充実した環境が整備されたことで、競技力向上から健康づくりまで、多様な活用ができるとの大きな期待が寄せられていました。

2日間のシンポジウムの後の水泳教室、陸上教室には、地元の小中学生や指導者が100名ほど参加され、スポーツを身近で感じる良い機会となりました。

講師をお務めいただいたオリンピック4大会連続出場の競泳オリンピックメダリストの松田丈志さんからは、「現役時代に湯の丸にプールがあったら絶対に利用していた。今の選手たちが羨ましい。」という嬉しいお褒めのお言葉もいただきました。

## (冬山安全祈願祭)

11月22日、今年の冬山の安全と賑わいを祈願する「湯の丸高原冬山安全祈願祭」が湯の丸スキー場でとり行われました。

予定していた翌23日のゲレンデオープンには、雪不足の影響で12月1日となりましたが、冬を待ちかねたスキーヤーが、初滑りを満喫していました。

今年も暖冬傾向と予想される中、一日も早い全面オープンに期待を寄せつつ、都心から最も近いパウダースノーエリア「湯の丸高原」へ多くの皆さんにお越しいただけることを願っております。

### 3 提案議案の説明

それでは、本定例会に提案いたします議案につきまして、順を追ってその概要を申し上げます。

#### (1) 平成31年度補正予算の専決処分の承認

はじめに、議案第54号「平成31年度 東御市一般会計補正予算（第4号）」につきましては、法の定めにより10月21日に行った専決処分について、地方自治法の規定に基づき議会に報告し、承認をお願いするものでございまして、10月12日の台風第19号災害による被害に早急な対応をする必要があったことによる事業費等の補正でございます。

#### (2) 平成31年度補正予算

次に、議案第55号から議案第57号の3件は、一般会計、介護保険特別会計及び湯の丸高原屋内運動施設事業特別会計に係る補正予算でございます。

まず、議案第55号「平成31年度 東御市一般会計補正予算（第5号）」でございますが、歳入歳出予算にそれぞれ24億786万3,000円を追加いたしまして、総額を173億2,308万8,000円といたすものでございます。

その主なものとしましては、台風第19号による農地及び農業施設の災害復旧工事費の補正、湯の丸高原屋内運動施設事業特別会計への繰出金の増額補正、小規模保育所運営委託料の増額補正、湯の丸高原スポーツ交流施設災害復旧工事費の補正、地方債の繰上償還に係る公債費の補正、給与改定等に伴う人件費の増額補正などでございます。

これらの財源といたしましては、国や県の補助金並びに地方債、

地方交付税及び基金繰入金を充てるものでございます。

また、市長選挙費、商工業振興助成事業補助金及び花いっぱい運動花苗栽培業務委託に関する債務負担行為につきましても、補正をお願いするものでございます。

次に、議案第56号「平成31年度 東御市介護保険特別会計補正予算（第3号）」につきましては、介護予防・生活支援サービス事業の利用者増に伴う給付金の増額補正等をお願いするものでございます。

次に、議案第57号「平成31年度 東御市湯の丸高原屋内運動施設事業特別会計補正予算（第2号）」につきましては、企業版ふるさと寄附金の見直しに伴う財源補正をお願いするものでございます。

詳細につきましては、それぞれ担当部長から提案の説明を申し上げますので、よろしくお願い申し上げます。

#### (条例案件)

続きまして、条例等の議案につきましてご説明申し上げます。

条例案につきましては、議案第58号から第62号までの5件でございます。

既存条例の一部を改正するものが3件、公の施設を廃止するものが2件でございます。

詳細につきましては、それぞれ担当部長から説明を申し上げますので、よろしくお願い申し上げます。

## (人事案件)

最後に、議案第63号につきましては、新たな農業委員会の委員18人の任命につきまして、農業委員会等に関する法律等の規定に基づき、議会の同意をお願いするものでございます。

詳細につきましては、後ほど申し上げます。

本定例会に提案致しました議案の概要は、以上のとおりでございます。

いずれも重要な案件でございますので、よろしくご審議をいただき、承認、同意及びご決定を賜りますようお願い申し上げます。

## 4 むすびに

市内の全域にわたりインフラやライフライン等に甚大な被害を受けた台風第19号の災害対応において、明らかとなった課題をしっかりと検証し、市民の皆様が安全で安心して暮らせる「災害に強いまちづくり」のため、今後の防災活動や有事の際の迅速かつ適切な災害対応に繋げてまいります。

国の情勢は日々変化し、地方公共団体を取り巻く環境は常に厳しい状況の中にあります。国の動向等を注視しながら、財政の健全性を維持し、安定した市政運営を進めてまいります。

市民の皆様並びに議員各位におかれましては、今後とも格別なるご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げ、本定例会招集のあいさつといたします。

令和元年12月3日

東御市長 花岡 利夫